

ホームページ <http://kosodate-taxi.com/>

子育て応援!



いただいた鮮烈な文
のみずみずしい感性
に惹かれていた康玲子さん。
的著作である「私には
文芸協会の文芸総合
第1回「賞・地に舟を
定めます」

た高校時代に、足に障
に次第に民族的アイデ
れ動く様が、当時の時
在日朝鮮人の若者に

受賞作品の掲載誌
『地に舟をこげ』在日
女性文学 Vol.2/2007
発行元・在日女性文芸協会
定価・1200円+税

よんじゃさん(右)と、
あよんさん(左)。す
は実は母と娘。2007
年西京区の横井さん宅
で開催された、受賞記
パーティにて撮影。

(編集部員 藤井悦子)

さん。1984年生れの
デザイナーとして活
動。創刊初期の、まだ
あよんさんの名前は「ふあよ
ん」日本の名とは少し違
う名前にした」と思

。好きなことは「食べ
る」を壊さないようなも

実力もありませんが、
で、なかなかうまく表

イラストの作者

あよん
と瑛さん

子育てタクシー — NPO:法人わははネット

香川県の子育て支援のNPO法人である「わははネット」の発案で、タクシー会社と協力して2004年に
始められた「子育てタクシー」の取り組み。いま全国へと広がっています。

きっかけは、「わははネット」に寄せられた親ごさんたちの声。「妊娠は病気ではないから、破水した際は救
急車を呼んではいけない、破水した水が漏れないようタオルを股に当ててタクシーで病院へ、と教えられる。
でも実際に上の子どもを連れて、股にバスタオルを当ててタクシーに乗ろうとしたら、シートを汚すかもしれ
ないし、またタオルを挟んだみっともない恰好で運転手さんに不親切にされてとてもつらい思いをした」
「急な残業で、保育園のお迎え時間に間に合わない。祖父母宅や塾に、
タクシードライバーさんが子どもを迎えに行ってもそのまま届けてくれたら
うれしいが、ドライバーさんに子どもが扱えるか不安」、などなど。

こうした声に応じて、妊婦さんや子どもへの対応などについて、きちんと
研修を受けた「子育てタクシードライバー」を養成して始められたのが
子育てタクシーです。利用者はあらかじめタクシー会社に会員登録(無料)
し、状況に合わせて、乳幼児と保護者が同乗する「かんがるコース」、
子どもがひとりで乗る「ひよこコース」、急なトラブルや夜中の移動など
の「ふくろうコース」などのサービスを受けます。チャイルドカーシート
や子育て情報誌の準備もあります。

全国で50社、ドライバーも500人に増えた子育てタクシー。どんどん
広がるといいですね。

(編集部員・藤井)



↑子育てタクシーのロゴマーク